

実践④

第3学年 総合的な学習の時間「生き物の歯たんけんたい」

単元の目標

- (1) 様々な生き物の歯の形や役割などについて知るとともに、共通点や相違点に気づき、
- (2) 調べたことを分かりやすくまとめ、発信していくことで、
- (3) 健康な歯の大切さに気づき、自分の歯や口を大切にしようとする。

課題を見つける力

① 「歯のカルテ」の作成

わたしの「は」のカルテ

ねん なまえ

しかけんしん れいわ 年 月 日

1. しかけんしんの けつかです。いろをぬって、じぶんの「は」のこを しりましょう。

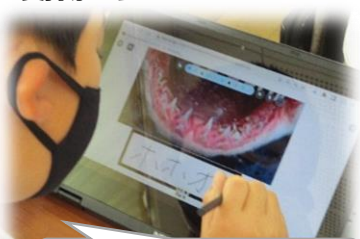
あか・むしは
まいる：むしはになりかけの「は」

みぞ ひだり

まづいたこと

自分の歯の状態を知る。

② 動物の歯クイズ



C: 何の動物の歯かな?

人間と動物の違いへの興味。

課題を解決する力

③ 課題解決に向けた探究的な学習活動の工夫

課題設定や情報収集



まとめ・表現



互いの発表への質問・感想



C: 牛の歯ってすごいな。

【歯のひみつ発表会】

C: ハムスターの歯は、
16本のうち、4本は
伸び続けます。
C: ハムスターの歯の数は
何本でしょう。
C: え〜。何本だろう？

C: ハムスターの歯の他の
12本はどうなるの？
C: そのままです。
C: 前歯だけなぜ、伸び続
けるの？
C: まだ、分かりません。



次の学びにつなげる力

④ 新たな課題設定へ



T: 生き物の歯たんけんた
いはもう終わってもいい
ですか？
C: 他の動物も調べたい。
C: ワニとか。
C: 人間の歯のことも。
T: じゃあ続けてみよう。

【成果〇と課題●】

〇児童の「やってみたい」「調べてみたい」から課題設定を行うことができた。探究的な学びのプロセスに沿って、自主的に学ぶ児童の姿が見られた。

●単元の目標にあるように、自分の歯につなげて考える視点を児童にも持たせるとよかった。(人間の歯に立ち返る、自らの生活経験等との比較など)